

発行所 全日本建設交通一般労働組合
栃木県本部
〒327-0315 栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
TEL 0283-62-7312 fax 0283-62-7318
E-mail: dqj06744@nifty.com
http://www.kenkourou.or.jp/

CTG 建設労働とちぎ

中東情勢

「仕事できない」現場は影響深刻 政府は早急に原油確保対策を

無法なイスラエル戦争終結を

米国のイラン侵攻により、石油製品の供給混乱が拡大しています。高市首相は「原油は確保しているから大丈夫」と無責任な発言を繰り返しています。
組合員の仕事と生活には深刻な影響が広がっています。政府は現場の声を聞き、早急に対策を取るべきです。

「影響は直撃ですよ」

「もう2週間仕事ない



そう語るのは親子で防水業を営む福島博之さん。「コーキング材（原料ナフサ）の値段は3割上がりましたが、いまは注文しても問屋に在庫がなくて入荷の見通しも立たない状態です。請負では受注できないので手間仕事でなんとかやりくりしています。こわいのはこれからです。見通しが立たない。供給が再開されても値段は下がらないでしょう。国は現場の状況がわからないのでは」。



「もう2週間仕事ないんで家で棚つくってます」大工の工藤貴幸さん。住宅新築工事が止まっています。「ユニットバス、トイレ、水回りの塩ビ管とかモノが入ってこない。俺は個人だからなんとかなるけど従業員のいる工務店は深刻だと思います」

「ウォシュレットとか日本にきた外国人が感動して外国で需要が増えて値段が上がってる。戦争が終わっても供給は不安定だと思います」「あっちこっちに声をかけて仕事さがしている状態です。これが続くとヤバイです」

「断熱材が厳しくなってます」と話すのは内装工の土澤敏幸さん。経済調査会によると断熱材は4月から4割、石膏ボードは6月から2割の値上げが予定されています。

「床に使うボンド類も上がってるから住宅価格自体相当上がるでしょうね。上がっても材料が入ってる間はいいけど問題はこれからでしょう」「内装は断熱材とシンナーが入らないと仕事にならないわけでダブルパンチですよ」



給油も制限 政府は外交を

ダンブ支部では四月十一日執行委員会を開催し各職場の軽油供給状況を確認しました。

大手砕石会社が運営するスタンドでは供給が停止され、代車に他社スタンドで給油できるカードを配布して対応

イラン情勢と世界アdblue危機の連動構造図

2026年3月現在



アdblueはダンブ・トラック等ディーゼル車の排ガスを低減させる尿素水溶液。アdblueなしでは走れない車両が増えています。

応、また、一台五〇〇一五〇以上の給油制限が実施されている状況も報告されました。石油元売とのパイプによって供給力に格差が生まれています。
「五月の連休以降仕事はあっても走れない状況になるのでは」「政府は米国の言いなりになっていないでイランと外交して日本への原油タンカーを確保すべきだ」などの意見が出されました。



「世界に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけ」。日本に戦争と貧困をもたらす高市外交。改憲、武器輸出解禁、スパイ防止法など次々と、景気対策消費減税はどうなった？

◎関東ダンプ協議会のホームページで「白ナンバー問題」の特設サイトがアップされています。「関東ダンプ」で検索してください。

反戦 対争

憲法9条守れ スパイ防止法反対



4月19日(日)、国会前で開催された改憲反対集会に参加、全国から結集した3万6千人と連帯。



武器輸出解禁の問題では、地元佐野市出身の明治の政治家田中正造が、日清戦争支持から軍備全廃論に変わったことを紹介しました。国の進路を決する1年になります。

4月9日、足利市で行われた「9の日宣伝行動」のなかで県本部山内委員長は「ここ足利市出身の茂木外相は日米首脳会談で『憲法9条の制約』を理由に、中東への自衛隊派遣が困難なことを説明したと明らかにしている」の述べ、9条が参戦への歯止めになっていると訴えました。またスパイ防止法の制定について「戦前の治安維持法は当初労働組合などは対象外と説明していた。ところが崩壊的に対象を広げ組合員や一般市民も検挙対象になった」と、思想信条の自由を抑圧する危険性を指摘しました。

高市早苗首相が今後1年で改憲発議(憲法を変える手続き)に道筋をつけることを表明しました。また、武器輸出解禁、スパイ防止法制定など、いま戦後日本のなかで最も戦争に近づきつつあります。各地で市民が声を上げ始めました。



4月12日(日)、春の組合健康診断会を開催しました。参加者は56人でした。今回初めて建設国保と連携して「特定健診」を実施し、建設国保加入組合員については無料で受診できることになりました。

初の特定健診も実施



4月から車や自転車の交通ルールが変わりました。「自転車なんか乗らないから関係ない」というわけにはいきません。車やバイクが自転車を追い抜くときのルールも変わりました。十分な間隔がないときは、その間隔に応じた安全な速度で。これに違反したら反則金普通車で7千円、点数2点です。十分な間隔、安全速度とは「少なくとも1メートル程度時速20キロ(30キロ)(警察庁)これでは現場警察官の主観で検挙される危険があるのでは・・・」

自転車抜き方で違反に

「特定健診」とは、生活習慣病予防のため、40歳〜74歳の人を対象に、メタボリックシンドロームリスクなどを中心に行います。大腸検査(検便)や眼底検査もセットになっています。生活習慣病予防準備を相当数抱える組合にぴったりの健診です。医療機関担当者「眼底検査は運転手さんにとって大変重要です。積極的に受診してほしい。」

国がダンプの実態調査

1246人から聞き取り「放置」

	合計	代車	販売
青梅八王子	291	82.1	18.2
千葉君津	164	93.3	6.7
埼玉北部	265	84.2	15.8
神奈川	356	82.6	18.3
栃木葛生	170	97.6	2.9
合計	1246	86.3	14.1

つくられた白ナンバー④

昭和52年、政府は関東の主要な骨材産地で働く白ナンバーダンプの運転手1246人に対面調査を行います。特定の職種にたいする調査としては極めて異例なものでした。調査の結果9割近くが「販売業」ではなく運賃で稼働する「代車」であることが明らかになります(上表)。この調査結果を踏まえ有識者らが提言を発表「問題がわかっていながら放置してきた行政の怠慢」と政府の姿勢を批判(運送免許(青ナンバー)の取得などを施策として提起します。その後半世紀、放置は今も継続中です。(つづく)

鹿沼レッカー事故から15年

活かすべき事故の教訓



2011年4月18日、鹿沼市樺山町でクレーン車が登校中の児童の列に突っ込み6人が死亡するという大事故が発生、今年で15年になります。

運転に不安を抱えるドライバーからの相談は増えているといいます。県警「重大事故を起こしてからでは遅い。積極的に相談してほしい」安全運転相談ダイヤル「#8080」

事故を起こした運転手は免許更新の際、持病の申告をせず服薬も怠っていました。この事故を契機に、病气や加齢の運転に与える影響が問題になりました。

◎↑総理府(現内閣府)「ダンプカーによる土砂等の運搬に関する実態調査」 ◎「ナンバー問題相談会」開催中です。